

長住協は「長寿命住宅の基盤作り」を部材の標準(共通)化を通じて推進してまいります

当協議会は、経済産業省の研究会の提言に基づき住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体として設立され、大手住宅メーカー・建材メーカー・住宅設備機器メーカーが一堂に会し、住宅を長く住み継ぐ為に不可欠なメンテナンスを容易にする為、住宅部材の標準(共通)化を推進する事を目的として活動しております


参加企業 (50音順)

- | | |
|---|--|
| <p>正会員 25社</p> <ul style="list-style-type: none"> ●旭化成ホームズ株式会社 ●クリナップ株式会社 ●ケイミュー株式会社 ●三協立山株式会社 ●サンヨーホームズ株式会社 ●三和シャッター工業株式会社 ●住友林業株式会社 ●積水化学工業株式会社 ●積水ハウス株式会社 ●大成建設ハウジング株式会社 ●大和ハウス工業株式会社 ●タカラスタンダード株式会社 ●TOTO株式会社 ●トヨタホーム株式会社 ●パナホーム株式会社 ●不二サッシ株式会社 ●文化シャッター株式会社 ●ミサワホーム株式会社 ●三井ホーム株式会社 ●株式会社ヤマダ・エス・エルホーム ●ヤマハリビングテック株式会社 ●吉川化成株式会社 ●株式会社LIXIL ●利高工業株式会社 ●YKK AP株式会社 | <p>賛助会員 19社</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アトムリビングテック株式会社 ●株式会社岩福セラミックス ●株式会社ウッドワン ●株式会社太田製作所 ●家研販売株式会社 ●株式会社神仲 ●株式会社川口技研 ●河淳株式会社 ●近畿セラミックス株式会社 ●株式会社コンサルテック社 ●三州野安株式会社 ●新東株式会社 ●株式会社鶴弥 ●中西金属工業株式会社 ●株式会社ニシムラ ●株式会社ベスト ●マツ六株式会社 ●丸栄陶業株式会社 ●株式会社ライズ |
|---|--|



平成25年7月

長期使用住宅部材標準化推進協議会

 長期使用住宅部材標準化推進協議会
<http://www.chojukyo.jp>
 問い合わせ窓口
 住友林業株式会社
 長期使用住宅部材標準化推進協議会事務局
 電話：03-3214-3606 E-mail：CjK-zimukyoku@sfc.co.jp
 10時～17時
 定休日：水・日・祝日

会長挨拶



経済産業省から平成20年4月に発表された『今後の住宅のあり方に関する研究会』の報告書において、メンテナンスの推進や住まいでのCS向上に加え、「長寿命住宅の基盤作り」が政策的取り組みの一つに指摘されました。この提言をうけて当協議会は同年7月に設立し住宅メーカー、住宅設備メーカー、建材メーカー等の先駆的企業が参画し、部品部材の標準化・共通化を行う事で、メンテナンス用交換部品(本協議会呼称：長期使用対応部材(CJK部材))を長期的に供給する事を目的として活動を開始しました。この活動を継続していく事で「住宅は長く大切に住み継ぐもの」という考えを広く根付かせていきたいと考えております。

長期使用対応部材(CJK部材)は、生産・流通・販売などのコスト削減や、メンテナンス用の支援部材を長期に確保し、住まい手の住宅への愛着を促し、長期的なメンテナンスに掛かるコストの低減が見込めます。住まい手やメーカーの両方にメリットがあります。

設立以来、関係団体とも連携しながら精力的に活動を行い、平成23年10月からはCJK部材の審査・承認・登録を開始しております。平成25年4月現在では20品目ですが、平成26年3月末までに対象品目を30品目まで増やしていく予定です。そのためには、既存の住宅関連業界団体とのより一層の連携強化を図っていく必要があります。

さらに、CJKマークを表示した製品を市場に流通させ、住宅メーカーが積極的に採用する状態にしたいと考えております。

関連産業の発展と国民生活の向上という真の目的の実現のために、会員の皆様や関係各位の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

長期使用住宅部材標準化推進協議会
会長 早野 均

長住協への期待



欧米では、住宅を長きにわたって必要な時期に手入れを行うことで住宅の寿命を長持ちさせ、次の世代に住み継ぐというスタイルが定着し、ストック社会の形成に大きく寄与しています。わが国においても「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」の施行(平成21年6月4日)を契機に、これまでの「作っては壊す」という新築需要から「長く大切に住み継ぐ」というストック型の需要への住宅産業の構造転換への対応が一層強まり、政府としても「ストック重視の住宅政策への転換」として、明確に位置づけられています。

住宅の長期使用には、新しい住まい手が住宅を引き継ぐため、機能・デザイン両面に亘り住まい手の要望に応えるリフォームやメンテナンスが欠かせません。わが国の住宅では、欧米と異なり、構成される住宅部品の修理・交換を行う際に、交換部品が標準(=共通)化された汎用規格品として流通していないこともあり、結果として、対象となる部品を含んだ全体を取替えなければならないといったことがあります。これは、消費者、メーカー、そして社会にとっても非効率な実態と言えます。このような背景の中で、住宅の長寿命化にあたって必要な住宅部材の互換性や、メンテナンス性の確保のための環境整備に資する本協議会の活動は、中長期的な視点から見ても大変有意義な取り組みであると考えております。

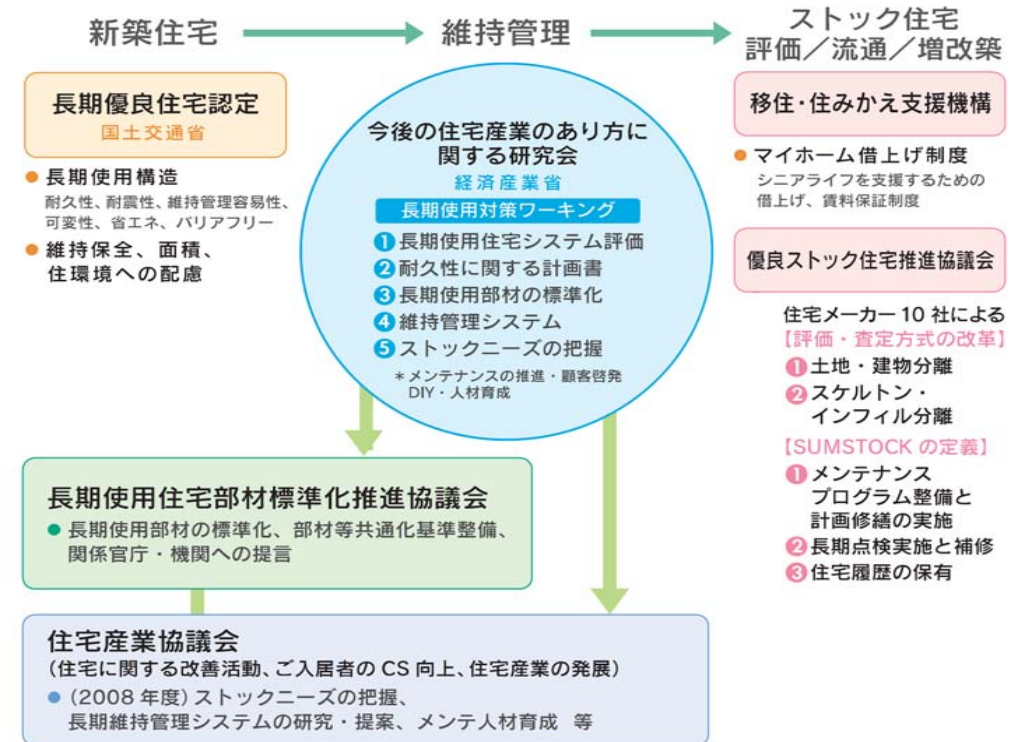
長期使用住宅部材標準化推進協議会は、平成19年3月経済産業省に設置した「今後の住宅産業のあり方に関する研究会」の報告を受け、住宅メーカー、住宅設備メーカー、建材メーカー等の先駆的な企業が集まり、住宅の長期使用に欠かせないメンテナンスに着目した「長期使用対応部材」の標準化の実現を図ることを目的に平成20年7月に設立されました。平成23年10月から運用が開始され、具体的な成果が出ており、今後は標準(=共通)化された長期使用対応部材が広く認知され、将来の部品・部材の交換時に大いに効果が発揮されることと同時に、製品としての差別化に影響が少ない部材の寸法などの部分については出来るだけ限り標準(=共通)化を図りつつ、一方で機能性・デザイン性など創造性を発揮すべき部分については、これまで以上に積極的な企業間競争を行うことで、わが国が有する「ものづくり」の技術を一層強化されることを期待しております。

最後になりましたが、本協議会の活動が、消費者のメリット、住宅部材の長期使用対応の早期実現及び、中古住宅流通、リフォーム需要の拡大に寄与することで、住宅、建材・住宅設備関連各社の持続的な発展となりますよう、心より祈念いたします。

経済産業省製造産業局
住宅産業課建材課長
三橋 敏宏

事業内容

- ①「長期使用対応部材(CJK部材)」の仕様の標準化事業
- ② 部材等共通化基準整備事業
- ③ 長期使用に対応した部材に関する調査研究事業
- ④ 関係官庁、機関等への提言及び関係団体並びに研究機関等との連携
- ⑤ その他、本会の目的を達成するために必要な事業



登録部材

長期使用対応部材(CJK部材)は、長期にわたってメンテナンスを容易にする為に互換性を持たせた部品・部材です。長期使用住宅部材標準化推進協議会では、住宅部材の標準(共通)化に向けた調査・研究を行い検討した結果平成25年4月現在以下の20品目の登録を行いました。

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 住宅用アルミサッシのクレセント | 11. 住宅用アルミサッシ網戸用モヘア |
| 2. 住宅用アルミサッシの戸車 | 12. 住宅用アルミサッシ網戸用網押さえゴム(突起有) |
| 3. 玄関ドア錠(箱錠) | 13. 住宅用アルミサッシ網戸用網押さえゴム(突起無) |
| 4. 玄関ドア錠(空錠) | 14. 階段・廊下手すり |
| 5. 内部建具 引き戸用戸車/レール | 15. 内部建具調整機能付き丁番 |
| 6. キッチン・洗面化粧台用スライド丁番 | 16. 粘土瓦(F型棧がわら) |
| 7. キッチン用台付きシングル湯水混合水栓 | 17. 雨戸パネル用戸車(レールタイプ) |
| 8. 平形屋根用スレート | 18. 住宅用アルミサッシ縦すべり出し窓用カムラッチハンドル |
| 9. ドアクローザー | 19. 住宅用アルミサッシ横すべり出し窓用カムラッチハンドル |
| 10. 内部建具 レバーハンドルケース錠 | 20. 固定式床下収納庫 |

※基準書は長住協のホームページ(URL <http://www.chojukyo.jp/>)にて参照可能です。

CJKマークの利用方法

長期使用対応部材(CJK部材)に対してCJKマーク(以下マーク)を使用する際は、マークの利用申請を行い「マーク利用許諾証」を交付される必要があります。マークの利用申請は長住協の正会員、または賛助会員に限り可能です。

販売促進ツール(カタログ・パンフレット・取扱説明書等)にCJK部材を使用している旨の表示を本協議会会員以外でも行なうことができます。ただし、マークによる表示は本協議会会員に限りません。